Yoshinaka Press 神奈川県議会議員

2023. JANUARY

発行: おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪166

「まっすぐに誠実に」をモットーに、おざわ良央県議は、1 期、2 期と政治活動、 議員活動に励んできましたが、市民の皆様の評価はいかがでしょうか。

県や県議会、そして自民党、また地域社会や文化・スポーツ団体等々のさまざまな役職等も経験し、 何よりも多くの皆様に助けられ、支えられての2期8年でした。

いよいよこの4月、おざわ良央の3期目への挑戦です。皆様と心を合わせ、力を合わせて決戦に臨みた いと思います。ガンバリましょう。

おざわ県議 2期目の主な役職

総務政策常任委員会 委員 厚生常任委員会 委員 建設 • 企業常任委員会 副委員長 環境農政常任委員会 副委員長 文教常任委員会 副委員長 (現) 決算特別委員会 委員 予算委員会 委員 (現) 安全安心対策特別委員会 委員長(現)

神奈川県

総合計画審議会 委員 都市計画審議会 委員 自然環境保全審議会 委員 (現)

自民党

自民党県議会議員団 副団長 自民党県議会政務調査会 副会長 自民党神奈川県支部連合会 副幹事長 (現)



昨年11月27日の全後援諸団体幹部会議で、来る 4月9日の3期目の必勝を期して、『おざわ良央 選挙対策本部』を結成。原義明後援会会長を 本部長とする陣容が決定されました。

令和5年3月5日日午後3時より

場所 小田原三の丸ホール 大ホー



期日前投票期間 **4**月 1日日 **~4月8日**

大切な

職務を

全うするよう

励みます!

告示

富士山噴火時での火山灰や 溶岩流対策について

知事 降灰は、交通網やライフラインを含め、生活や産 業に大打撃を与え、膨大な灰の処理等課題も多い。県内 市町村や警察と連携、また山梨、静岡との三県協議会、

国の中央防災会議 等で検討、関連団 体、事業者等で対 応策を進めている。 溶岩流対策では特 別チームにより「指 針」を本年度中に 策定、影響を受け る市町の避難計画 策定を強力に支援 します。



※画像はイメージです

児童・生徒の近視予防への取組み

裸眼視力 0.1 以上の児童・生徒は小一で約八割だが、 中三では四割まで低下、ICT教育が進む中、今後の近 視予防にどう取り組むか。

教育長 近視の原因は遺伝や生活習慣が多い。ICT機 器利用の際の留意や保護者への利用時間短縮の啓発 等、視力低下抑制策を進めます。

特定健康診査・特定保健指導の 実施率向上への取組み

県民の健康を守り、生活習慣病やコロナ感染症等の早 期発見をするために実施率向上にどう取組むか。

知事 本県の特定健診等の実施率は全国平均以下で向 上が課題。保健師の充足等を通して、実施率の向上を 図り、県民の健康を守ります。

県議会一般質問 報告

全力活動の日々の中、去る9月20日、令和4年第3回定例県議会で 一般質問をしました。主要質疑応答の概略をご報告します。

やさしくて強いまち めざしますおざわ良央製



県西地域の医療提供体制の確保と 足柄上病院、小田原市立病院の

再整備について

知事 県西は2つの公立病院 の連携、協力体制の一層の強 化が大切。これによる地域完 結型の体制構築を図るため、



小田原市と県立病院機構との基本協定を締結。小田原 市立病院は主に高度急性期・急性期、足柄上病院は回 復期医療、と役割分担をしている。老朽化している足柄 上病院もこれを踏まえ再整備を進め、回復期、救急、感 染症、災害時の四つの診療機能を強化する。

小田原市立病院も再整備が進められるが、県西の医療 提供体制の充実・強化に向けて、県としてもしっかり支 援してまいります。

再質問 小田原市立と足柄上の機能分化をどう進めるのか 知事 足柄上病院の産科を今年度末で小田原市立病院 へ集約予定。安全、安心な分娩体制を確保します。

要望 産科集約は、特に地域の意見をよく聞き、質の高 い県西地域の医療体制構築のため、両病院へ、県もしっ かり支援をお願いします。

スマート技術を活用した 都市農業の推進

農業者の高齢化や労働力不足が進み、効率の高い農業 が必要。本県都市農業推進に生産現場へのスマート技 術の導入に取組むべきと思うが。

環境農政局長 今後は温室野菜の他に、生産量の多い 露地野菜でも導入し、ドローンや自走型ロボット利用等、 民間企業、関係団体と連携し、新技術の導入を進めます。

伊豆湘南道路計画について

県西と伊豆間の国道135号は、慢性的な渋滞や高波、土 砂崩落被害が多発。計画実現への取組みの現状と今後は。 県土整備局長 県は静岡県や沿線市町と共に、新道の 必要性を国に強く訴え、令和二年度から、国の補助金活 用により計画具体化の検討を進め、厳しい地形条件、温泉 の保全、既存道路との接続等、難しい状況が判ってきた。 また住民、経済団体、道路利用者等へのアンケート調査 を実施、今後は学識者等による委員会や沿線市町、国の 意見等も踏まえ、計画の具体化へ向けてしっかり取り組 みます。



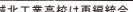
県立高校再編・統合決まる

県教育委員会は昨年10月、2024年度~27年度4年間の 「県立高校改革実施計画Ⅲ期」を発表。生徒数の減少等に より県内5校の再編、統合を進め、県西地域では、城北工業 高校と大井高校が対象となり、大井高校は廃止となる。

小田原城北工業高校は、全日制の普通科(クリエイティブスクー ルとして設置)・機械科・電気科・建設科・デザイン科を設置 するため、実習室を普通教室に変更するなどの改修が見込まれ、 大規模改変はない。26年度に統合予定。

大井高校(敷地面積3万2千㎡)は今回、廃止対象となった。 県や地元大井町等での利活用策を探り、公共利用活用が見込 まれない場合、民間事業者への売却が検討される。







大井高校は廃止

県地域防災計画を修正

昨年3月の県防災会議で、「神奈川県地域防災計 画」の地震・風水害等・原子力の三つの災害対策 計画が修正された。男女共同参画等の推進、新 型コロナ感染症の拡大、富士山噴火時等の山梨 県との総合支援協定、熱海市土砂災害、津波災 害警戒区域の新協定等の新課題に対応したもの。



文教常任委員会 副委員長報告

昨年11月、文教常任委員会の 行政視察に副委員長として参加。 石川県、福井県の 4教育文化施設を視察した。

■国際高等専門学校白山麓キャンパス

校。15歳から9年間 一貫教育。英語で理工 系科目を学び、国際的 技術人材を育成する。



行政

視察

■石川県立金沢泉丘高等学校

文科省のスーパーサイエンスハイスクール指定校。国 際的な科学技術系人材の持続的育成に取り組む。

■石川県立図書館

昨年7月、『文化立県・石川』 の新たな"知の殿堂"として 公文書館や生涯学習機能 も併せ開館。知的な活気と 賑わいに溢れている。



■福井県立福井農林高等学校

安全安心対策特別委員会 委員長報告

市内の主要な幹線道路や河川改修工事が着実に進んでいる。

おざわ良央 県議会安全安心対策特別委員会の委員長としても

生物生産科、環境工学科、生活科学科、食品流通 科の 4 学科がある。先進的、実践的な農業教育を、 神奈川県の農業高校改革の参考にしたい。

穴部国府津線

市内穴部~蓮正寺間は、小田急 線と大雄山線を跨ぐ橋梁が必 要。両鉄道会社との調整中。 地買収率は6割。暫定2車線。



[都市計画道路] 小田原中井線

中村原~前川の国道1号橋インター入 口まで。一部区間供用済み。残る630m 区間の用地買収と、JR東海道線下を 通るため、今後JRとの調整を進める。



[都市計画道路] 城山多古線 小田原山北線

久野~穴部の事業中。用地取 得率9割。久野坂下のトンネルエ 事は令和4~6年度工事。 の供用は令和7年度予定。



山王川

働きどころである。

(小田急橋梁架け替え)

小田急橋梁の架け替え は、近年の大規模水害 を踏まえ、計画を2年早 め令和6年度完成を目 指して鋭意工事中。

